

新たな出会いと共感 生き生き ワクワク... ボランティア!

メッセージ

空を自由に飛ぶ鳥も、夜はねぐらに帰って休みます。

私たちは自由に生き、そして安心して暮らしたいという希望があります。いろいろな人たちと出会い、多くの体験をしながら自分の世界を広げたいと願うことができるのも、自分にとって落ち着ける居場所があり、心のよりどころになる人がいるからです。特に障害のある人たちには、そっと寄り添って必要な手助けをしてくれたり、喜びや悲しみや困ったことなどに心の耳を傾けてくれる人がいると安心です。その人の心の世界も広がります。そんな人と人とのつながりの中での信頼関係を大切にし、心のネットワークを結ぶことで、どんな人にも暮らしやすい地域社会が生まれることでしょう。

ボランティアを試してみようと思っている皆さんへ

① 無理なく、楽しく!

ボランティア活動は、自分も楽しみつつ、地域の人々に貢献できる活動です。あなたの人の役に立ちたいという素敵な心を大切に、自分自身が楽しく活動できることが必要です。無理をせず、楽しく続けられることが、まず大切です。

② できること、得意な所を!

ボランティア活動には、参加できるさまざまな活動があります。活動に必要な材料や道具を作ること、活動のプログラムを作ること、活動の中で指導をしたり援助をすること、受付や案内をすること、必要な書類を作成すること、会計をすること、片付けや掃除をすること、などなど…。さまざまな事柄の中で、自分ができるところ、得意な所を活用してもらいましょう。たくさんの人々のささやかな活動が、楽しく安全な大きな活動を生みます。

③ 関心を広げよう!

あなたがボランティア活動を続ける中で、新たに経験することや、学ぶことがあります。それらは、活動の範囲を広げたり、援助や支援の中身を深めることにつながります。障害のある子ども達の地域活動では、一人一人に応じた支援方法が大切になります。関心が出てきたら、それぞれの特徴に応じた具体的な支援方法について学ぶ機会を持ってみてください。きっと、ボランティア活動以外の場でも人に優しい配慮が生まれてくると思います。

発行 全国特別支援学校長会

独立行政法人 福祉医療機構助成事業
子育て支援基金助成事業 (一般分)